



静岡県立清水特別支援学校 学校便り

あきはの風

第3号



令和7年12月18日発行

第3号の学校便りのテーマは「多様な学びの場」です。

今年度、本校は“地域にかがやきを発信し続ける学校”を目指し、昨年に引き続き、こどもたちのもつ良さや取組を地域に発信していくこと、地域と協働して学習活動を展開させていくことに重点をおいて取り組んでいます。開校以来、本校は「地域に遊び、学び、参加する」を学校経営の共通課題として取り組んでおり、地域を教室に様々な学習に取り組んでいます。

本校では、学校、PTA、地域の方との協働で、「お茶プロジェクト」に取り組んでいます。学校近くの中村米作商店（お茶屋・中村様）、豊好園（茶農家・片平様）の御協力をいただき、茶葉の育成や茶摘み、紅茶づくりに取り組むことを通して、清水の基幹農作物であるお茶の生産や魅力について学んでいます。今年は、校内に植えていただいたお茶の木も成長し、小学部6年生が初めてのお茶摘みを行いました。生活単元学習の授業で、お茶摘み、茶葉作り、お茶の淹れ方に挑戦しました。中村様からも、茶葉の煎り方や出来上がった茶葉の本格的な香りに太鼓判をいただき、6年生も大喜びでした。

小学部低学年では、学校の隣にある秋葉山公園を生かして、季節折々の自然に触れ、思い切り遊び学んでいます。紅葉した木の葉やどんぐりをテーマにしたあそびの学習では、木の葉のプールやどんぐりをアイスやジュースに見立てたり転がしたりして、思う存分、楽しんでいます。

中学部2年生は、お日待ち太鼓保存会たちばな蜂文末会の方から御指導いただき、飯田まつりで、一緒に発表しました。授業での地域の方からの御指導は、生徒の自信につながり、生き生きと発表することができました。

高等部は作業学習を通して、地域密着・SDGsを意識した製品をつくり、販売や納品を通して、清水の自然や良さを伝えています。地域の企業の御協力で、使用済みのものを生かしたキャンドルやガラス製品、木工製品などを製作。印刷芸芸班では、三保の松原の保全活動として行った松葉かきで集めた松葉を使用して「みほのまつがみ」を作っています。この「みほのまつがみ」を使用して、清水区と協力したシズラ10周年記念デザイン製品も作成しています。

この他、くふうハヤテベンチャーズのために動画を作成しての応援や清水エスパルスのウェルカムボード作成など、様々な連携で清水の良さを発信し続けています。

今後も、本校の児童生徒のかがやきと共に、児童生徒が主役となって、自ら学んだり企画したりして、益々、清水の良さを発信し続けていきます。御期待ください！ 教頭 田代美紀



お茶プロジェクト



秋をテーマに



飯田まつり



くふうハヤテ応援
ちゅ〜るスタジアムにて

<地域と連携した教育活動>

「相互の触れ合いを通して、豊かな人間関係や社会性を育み、地域に根差した生活を広げる」を目的に、遊びコーナーやゲストティーチャーなど、地域ボランティアさんと共に活動する機会が多くあります。今回は、その一つである花壇整備について紹介します。

地域の方と一緒に花壇整備 ～中学部美化委員会～

今年度は、中学部美化委員と地域ボランティアさんが年間通して正門前花壇の整備を行っています。初めはぎこちなかった生徒たちですが、同じメンバーで活動を繰り返すうちに、自分の役割が分かって主体的に取り組む生徒の姿が見られるようになりました。

通り掛かりの方から「お花がきれいで嬉しいよ。ありがとう。」とお声掛けいただいたり、ボランティアさんに「苗植えが上手になったね。」と褒めてもらったりして、生徒たちの意欲が更に高まっています。それぞれの役割を果たしたり、「任せて！」と重いプランターを協力して運んだりする姿からは、「みんなの花壇をきれいにしている！」という誇りが感じられます。

花壇の看板作りでは、一緒にステンシルをして出来栄を確認するなど、笑顔で交わす自然なやり取りが広がりました。

花壇を通じて協働し、共にやりがいや楽しさを感じる機会になっています。

地域連携課長 白鳥史野



<本校の防災教育について>

11月27日（木）に令和7年度の総合防災訓練が行われ、飯田地区自主防災組織の方やケアセンターの方々に、見学や体験学習に参加していただきました。小学部と中学部はスモークハウスや寝袋体験、はしご車訓練の見学など、被災した時の避難の仕方や生活について学びました。高等部は、地域の方と一緒に赤十字の炊き出しセミナーや避難所設営とその運営などの活動に取り組み、被災した時には地域の一助となれるような学習に取り組みました。

本校は地区の一般避難所と福祉避難所の機能を持つため、より地域と連携した防災対策や学習を積み重ねていきます。

生活安全課長 外岡拓也



<小学部>

11月6日(木)、7日(金)の1泊2日で浜松市に修学旅行へ行ってきました。

小学部では、低学年は学校周辺の地域、中学年以降は自分たちの生活圏内である清水区そして静岡市、5年生は隣の市である焼津市について学習を深めています。そして最高学年の6年生はその集大成として浜松市について特色や良さを知り「僕たち私たちの“静岡県”が大好きになる」ような学習に取り組みます。

1日目は「浜松市科学館みらいーら」での“不思議や驚き”の詰まった科学体験、「ヤマハイノベーションロード」での“素敵な響き”の楽器体験、「うなぎパイファクトリー」の工場見学や買い物など、事前学習を経て「見たい！やりたい！」と考えたことをたくさん経験することができました。2日目は「浜名湖遊覧船」に乗船し、楽しみにしていたカモメのえさやりを体験し「浜名湖パルパル」でグループ活動を楽しみました。

お家の方から離れて過ごした1泊2日の“人生初の修学旅行”。“自分のことは自分で”“友達と一緒に頑張る”力を付けた児童たちの今後の学校での活躍が楽しみです。

小学部6年学年主任 村瀬知香



<中学部>

10月22日(水)、23日(木)、24日(金)の2泊3日で名古屋市に修学旅行に行ってきました。

これまでの「清水の自慢」についての学習、「静岡の自慢」についての学習からの繋がり、広がり的大事にして修学旅行のテーマは『見て、食べて、体験して名古屋の自慢をみつけよう！』になりました。名古屋の歴史文化を知るため「名古屋城」や「トヨタ産業記念館」を訪れたり、食文化の「赤味噌料理（どて煮、みそカツ、味噌煮込みうどん）」「きしめん」「天むす」などを満喫したりしました。また、名古屋の中心部のミッドランドスクエアや中部電力ミライタワーでも活動し、名古屋港水族館ではクラスの友達と思い出作りもできました。

事前学習で学んだことを実際の体験を通して確かめたり、新たに発見したりして、どの場所でも積極的に活動し、楽しんでいる生徒の姿がたくさん見られました。様々な人との出会いやふれあいもあり、最高の3日間になりました。



中学部3年学年主任 鈴木瑛希子

<高等部>

12月3日（水）～5日（金）まで、兵庫県と大阪府へ修学旅行に行ってきました。1日目は、世界文化遺産である『姫路城』と、防災学習として『人と防災未来センター』、2日目の午前には震災当時の港の様子が残っている『神戸港震災メモリアルパーク』、神戸の産業について学習する『神戸海洋博物館』、午後は異文化学習のため『南京町』と『北野異人館』のグループに分かれて学習をしました。神戸港で合流した後、『神戸港クルーズ』に乗船し神戸の街や夜景を海上から眺めました。3日目は、大阪に移動しクラス活動。『あべのハルカス』や『通天閣』、『大阪市立博物館』など、自分達で考えたコースを回りました。参加者全員が、3日間元気に過ごすことができ、たくさんの思い出をつくることができました。また、友達を気遣ったり、声を掛け合ったり、学習する場面と楽しむ場面をしっかりと切り替えたりして、生徒の成長を感じる修学旅行となりました。

高等部3年学年主任 久保田章彦



<かがやき参観会>

12月13日（土）に、かがやき参観会を開催しました。全校での行事は、令和2年度に実施した学習発表会以来、5年ぶりの開催でした。日頃の学習の成果を保護者の皆様や地域の方々に発信する貴重な時間となりました。児童生徒たちは、事前公開で他学年や他学部の発表を見て、「サイコーだった。」「〇〇が楽しかったです。」などお互いの頑張りを認め合いました。普段とは違う雰囲気緊張する児童生徒の姿もありましたが、学習してきた成果を発揮して、児童生徒たちのかがやきが溢れた一日となりました。来校してくださった皆様、ありがとうございました。

教務課 長谷川文明



小学部4年生



高等部1年生



高等部3年生



中学部作業発表会



体育館作品展

